



UG5000W – 溶剤系タンク

標準操作手順

事前洗浄:

- スプレーガンをエアラインから取り外し、カップを外す。
- 塗料流路に溶剤をスプレーし、廃溶剤を廃棄用容器（別売）に排水する（右側の写真参照）。通常のカップを使用している場合は、塗料を廃棄用容器に排水する。



スプレーガンの洗浄準備:

- エアキャップを2回回して緩める。
- 右側の写真に示す通り、トリガーロックスプリング（部品番号 120-350）を使用し、トリガーを開いた位置で固定する。



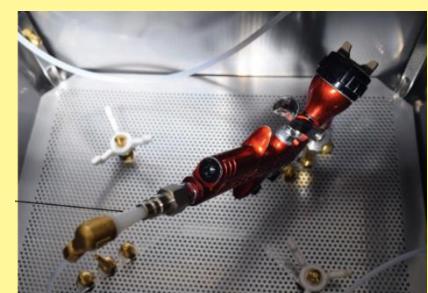
トリガーロックスプリングが正しい位置にある



スプレーガンのエア流路への溶剤の侵入を防ぐため :

- 白色プラスチック製のプラグをスプレーガンのエアフィッティングに挿入する。エアフィッティングを取り外した場合は、トリガーロックスプリングに付属のローレットナットをスプレーガンのエア流路に取り付ける。

エアプラグ
(140-230)



洗浄タンクへのスプレーガンの設置:

- エアキャップがコーナーを向くように、スプレーガンを洗浄タンク内のノズルエクステンションに設置する。スプレーガンに最も適合するノズルエクステンションを選択する。洗浄タンク内には固定型ノズルエクステンションがあり、アクセサリーキット内にはプッシュオン式エクステンションが収納されている。



洗浄サイクル :

- 洗浄タンクの蓋を閉め、「オートウォッシュタイマー」を時計回りに回して洗浄を開始する。洗浄サイクルには約 60 秒かかる。
- 「エアリンス」ボタンを約 2 秒間押し続け、洗浄溶剤を排出する。
- 「クリーンリンス」ボタンを約 2 秒間押し続け、クリーンな溶剤 100cc をジェットからスプレーガンに送ってすぎ。溶剤の消費を最小限に抑えるため、クリーンリンスの溶剤量は 100cc に制限されている。
- すすぎポンプが再充填されるまで、クリーンリンスを再使用する前に 30 秒待つ。
- 「エアリンス」ボタンを約 2 秒間押し続け、スプレーガンをエアリンスする。
- スプレーガンの洗浄が完了したら、タンクからガンを取り出し、拭いて乾かす。スプレーガン及びカップを洗浄タンク内に保管しない。



フロースルーブラシの使用

- スプレーガン洗浄機に飛び散った塗料を洗浄する。
- フットペダルを踏み、洗浄溶剤をブラシに送ってスプレーガンを洗浄する（右側の写真参照）。
- 溶剤の流量は工場出荷時に設定されているが、左側の「ブラシフロー コントロール」を使用して調整可能（最も右側の写真参照）。
- 流量を増やす場合は、ロックナットを緩め、ダイヤルを反時計回りに回転させた後、ロックナットを締める。



フロースルーブラシ



ブラシフロー
コントロール

詳細な説明については、ユーザーマニュアルまたはユニラム公式ウェブサイト (<https://uniram.jp/>) の「テクニカルサポート (Technical Support)」欄に掲載されたユーザーマニュアルを参照。



UG5000W - 水系タンク

標準操作手順

事前洗浄:

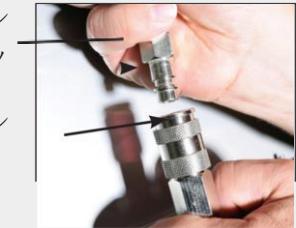
- スプレーガンをエアラインから取り外し、カップを外す。
- 使い捨てカップアダプターに水をスプレーし、トリガーを引いて廃水を廃棄用容器（別売）

（参考写真）



洗浄準備:

- 凝集排水バルブのハンドルを閉じた位置にする（右側の写真参照）。
- ホースラインのクイックコネクトをスプレーガンのエアフィッティングに接続する（最も右側の写真参照）。



スプレーガン
のエアフィッ
ティング
ホースライン

水系ガンを使用した塗料流路のフラッシュ:

- セレクターバルブのハンドルを「水系ガン（Wash Gun）」の位置にする（右側の写真参照）。
- フットペダルを踏み、スプレーガン及び水系ガンのトリガーを引くと、加圧された水が塗料流路を通過する。スプレー収容チャンバーによりスプレーが収容される。
- 塗料流路を洗浄するため、約 20 秒間水を流し続ける（最も右側の写真参照）。



セレクタ
ーバルブ



スプレーガン
の流体流路
水系ガン
スプレー収容チ
ャンバー

フロースループラシを使用したスプレーガンの洗浄:

- セレクターバルブのハンドルを水平位置にし、フットペダルを踏んで加圧された水をブラシに送る。
 - ブラシフローコントロールを使用して水量を調整する（最も右側の写真参照）。
- 流量を増やす場合は、ロックナットを緩め、ダイヤルを反時計回りに回転させた後、ロックナットを締める。



フロースループラシ

フローコントロール

スプレーガンの乾燥:

- スプレーガンのトリガーを引き、ブローガンを使用して塗料流路を乾かした後、スプレーガンの外側を乾かす。

水のリサイクル:

洗浄タンクの下の水用ペールに水が残っていない場合は、汚水のリサイクルを行う時期です。

- ワークスクリーンを取り外す。凝集剤 COAG-KLEEN をスコップ 2 杯分、汚水全体に均一に撒く。蓋を閉め、凝集タイマーを最大限に回す。タイマーが終了したら 2 分間待ち、再度タイマーを 1 分の位置まで回す。
- 注記：凝集が進行するにつれ、水面下の水は透明になる。凝集排水バルブを開き、汚水を排水してろ過する。水系ガンでタンクを洗浄し、ワークスクリーンを拭き取って再度挿入した後、排水バルブを閉める。タンク底部のエアージテーターが平らに置かれていることを確認する。
- 残骸が付着した 2 つのフィルターを取り外し、約 20 分間「乾燥」させておく。残骸が「乾燥」すると、オートミールのような質感になる。地域の環境基準に従って残骸を廃棄する。
- ろ過後の水が清浄でない場合は、マニュアルの「トラブルシューティング」の項を参照。
- 処理後の水は、触れたときに「ぬるぬるした」感触になるまで再利用できる。その後は地域の環境基準に従って廃棄する。新しい水を補給する場合は、フィルターホールダーの底部に達するまで補給する。
- フィルターは再利用できる。必要に応じて交換する。



凝集タイマー



水系ペール



UG5000W

月次メンテナンス

手順:

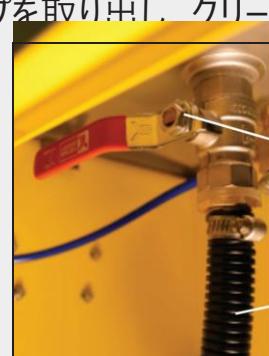
- 溶剤洗浄ペール及びクリーンリンスペール内の溶剤レベルを確認する。洗浄ペールの液量が 75%以下の場合は 75%の位置まで補充し、クリーンリンスペールの液量が 50%以下の場合は 100%の位置まで補充する。洗浄後のスプレーガンにべたつきがある場合、または 100 回洗浄を実施した場合は、以下の手順 (A) に従って洗浄ペール内の溶剤を交換する。
- 洗浄ペール内に設置されたステンレス鋼製金属フィルター（部品番号 104-4310S）を洗浄する。以下の手順 (B) に従う。
- 溶剤洗浄タイマー、すぎポンプ及びブラシの作動を確認し、トリガークリップ（部品番号 120-350）が存在するか確認する。
- 水系ガン及びブラシの作動を確認する。水系タンクで使用する水路を洗浄する。以下の手順 (C) に従う。
- 洗浄添加剤 AQUA-KLEEN（部品番号 102-8200）、凝集剤 COAG-KLEEN（部品番号 102-8300）、一次フィルター（部品番号 102-8125）及び二次フィルター（部品番号 102-8126）の在庫を確保する。
- 溶剤洗浄タンク及び水系洗浄タンクを洗浄する。必要に応じて、ワイヤ製クリーニングツールを使用してすべてのジェットを洗浄する。
- 凝集手順を実施し、必要に応じてフィルターを洗浄または交換する。

(A) 洗浄溶剤の交換手順

- クリーン溶剤ペールからすぎポンプを取り出し、クリーンペールをキャビネット内に戻す。



溶剤排水バルブ



排水バルブ
排水ホース



排水ホース
フィルター付き吸入チューブ



溶剤洗浄ペール

排水バルブ

溶剤洗浄ペール

フィルター付き
吸入チューブ

- 上記 2 番目の写真に示す通り、排水バルブを閉める（水平位置）。洗浄ペールから排水ホース及びフィルター付き吸入チューブを取り外す（3 番目及び 4 番目の写真参照）。
- キャビネットから溶剤洗浄ペールを取り出す。使用済みの洗浄溶剤を廃棄ドラムに注ぐ。洗浄ペールに排水ホース及び吸入チューブを取り付け、洗浄ペールをキャビネット内に戻す。排水バルブを開け、洗浄タンクに溶剤を注入し、洗浄ペールの液量が 75%の位置に達するまで満たす。クリーンリンスペールをキャビネット内に戻し、排水ホースを洗浄ペールからクリーンリンスペールに移動させる。クリーンタンクに溶剤を注入し、クリーンペールの液量が 100%の位置に達するまで満たす。排水ホースを洗浄ペールに戻し、クリーンリンスペールにすぎポンプを取り付ける。排水バルブが開いた位置（垂直）にあることを確認する。

(B) 溶剤洗浄ペール内の金属フィルター洗浄手順 :

- 取り外し可能な金属フィルターは、洗浄ペール内部の吸入チューブ先端に取り付けられている（下記 1 番目の写真参照）。このフィルターは、残骸がポンプ及び洗浄タンクに侵入するのを防ぐ役割をする。
- キャビネットから洗浄ペールを取り出し、下記 2 番目の写真に示す通り吸入チューブを取り外す。
- チューブから金属フィルター（部品番号 104-4310S）を取り外し、クリーンな溶剤が入った混合カップで金属フィルターを洗浄する（下記 3 番目の写真参照）。フィルターは手で締めるだけとする。



溶剤洗浄ペール

金属フィルタ

溶剤中の金属フィルター洗浄



(C) 水系ガン及びブラシ用水路の閉塞解除手順:

1. セレクターバルブを「ブラシ（Brush）」の位置にする。
2. 右側の写真に示す通り、入水路チューブを水系ペールから取り出す。
3. スプレーガン洗浄機に接続していないプローガンを使用し、
入水路チューブにエアを吹き込むと同時にフットペダルを踏み、
ブラシへの水路内の残骸を除去する。
4. セレクターバルブを「水系ガン（Water Gun）」の位置にし、
手順 2～3 を実施する。

建物のエア供給源に
接続したプローガン

入水路チューブ